

# 5 今年度の検討内容

---

- 今年度以降は『**今治市中心市街地まちづくり構想**』の**実現化**に向けた取組を展開
- 今年度は**市の主導により実施可能な以下の2つの項目**について検討

1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討

+

2 まちの拠点およびモビリティ戦略の検討

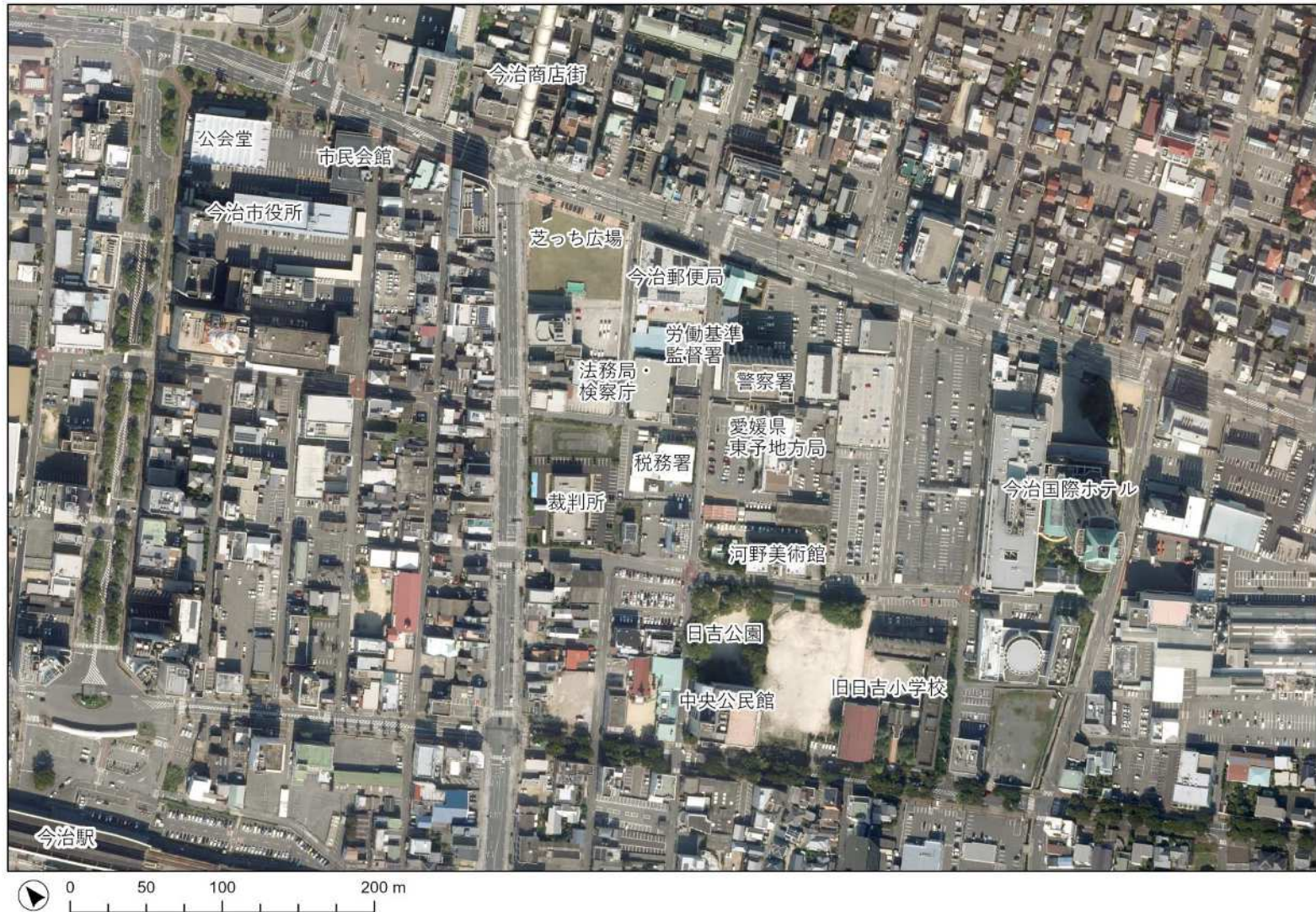
※具体的な内容については、公共施設等再編部会及び公共空間再編部会で検討

# 1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討

# 1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討



# 1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討



# 1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討



## ■シビックゾーン周辺の現状と課題

- **官公庁施設の老朽化が進行**している（今治市役所、愛媛県東予地方局今治支局、松山地方法務局今治支局・松山地方検察庁今治支部、今治税務署、中央公民館、河野美術館、中央保健センター等）
- 中心市街地の中央に位置する「**芝っち広場**」が**有効利用されておらず、駐車場や低未利用地**が広がっている
- 旧日吉小学校は子どもたちが過ごしてきた場所であることから、**子どもが安心して遊べる空間**にしてはどうかという意見もある



今治市役所



芝っち広場



旧日吉小学校



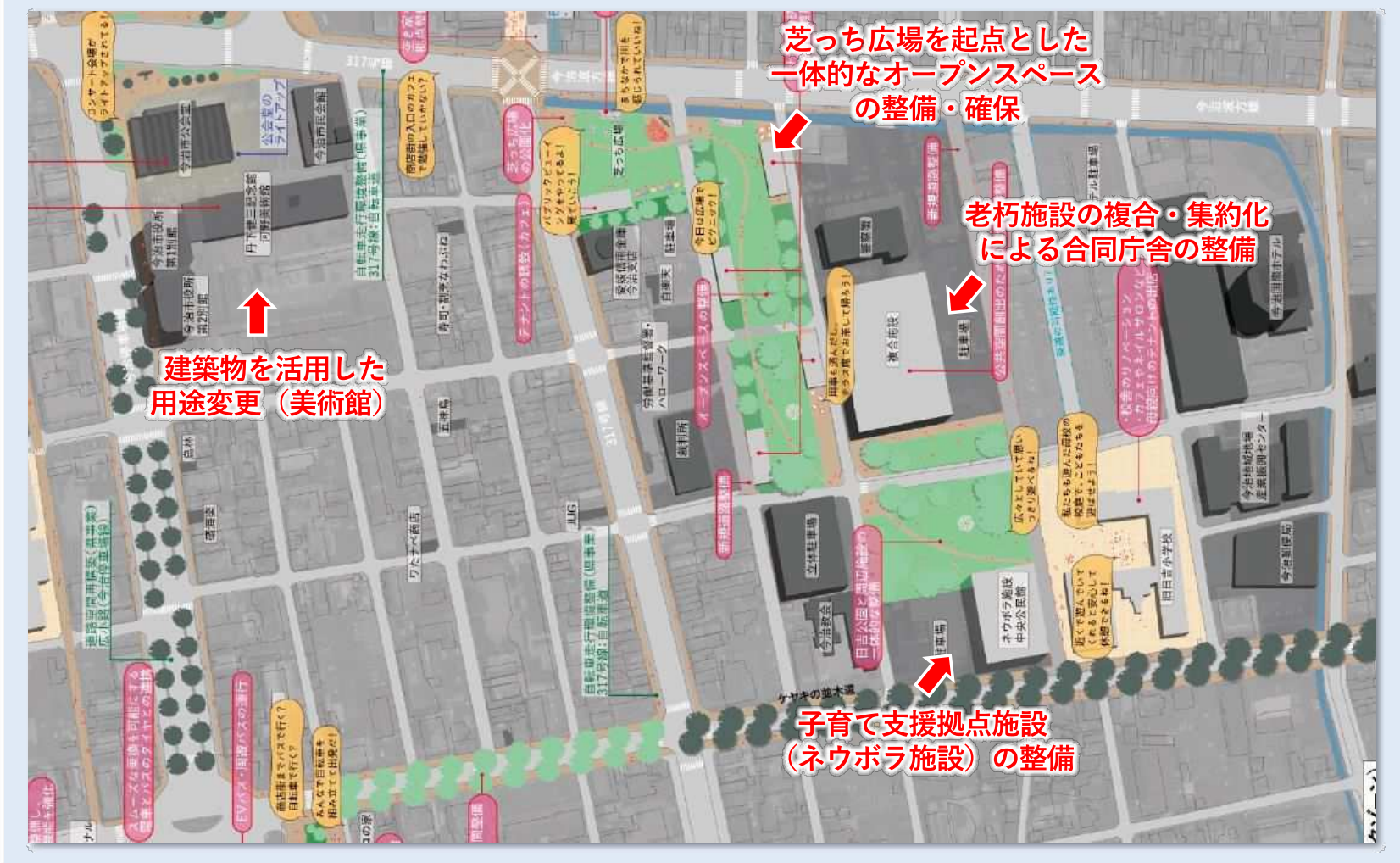


# 1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討

## 『中心市街地まちづくり構想』における記載内容：デザインノート



## 『中心市街地まちづくり構想』における記載内容：デザインノート



## ■今年度の取組内容

『中心市街地まちづくり構想』で示した内容の実現化に向け、シビックゾーン周辺における公共施設の再編・再配置とそれに伴い発生する施設跡地の活用案を検討し、その具体化方策を示す「**シビックゾーン再整備基本計画（素案）**」を作成

**➡ R7年度以降の具体的な再整備を見据えた計画づくり**

## ■検討フロー



## ①関係団体等へのヒアリング

- シビックゾーンの再編を検討する上で、**前提条件（現在の施設情報、敷地条件、施設の複合化の実現可能性など）を整理**するため、デザインノートに示される将来像を踏まえ、ゾーン内の各施設管理者に対してヒアリングを実施
- ヒアリング対象毎にヒアリングシート及び今治市中心市街地まちづくり構想を配布し、回答いただいた上でヒアリング（訪問調査）を行う

### ■ヒアリング対象

- ①今治市
- ②愛媛県
- ③国（松山地方検察庁、松山地方法務局、高松国税局）
- ④民間事業者（日本郵政株）

# 1 シビックゾーン周辺の再編に向けた検討

## ■ヒアリング調査の概要

番号	団体名称	対象施設	ヒアリング内容	主なヒアリング項目
1	今治市 管財課	今治市役所	国・県等の施設との庁舎複合化の可能性も含めた今治市役所の再編に関する意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>各諸室の使用状況及び将来的な見通し</li> <li>必要な駐車場スペース</li> <li>新庁舎の整備に向けた意向 (複合化の際の条件等) など</li> </ul>
2	愛媛県 総務管理課	愛媛県 東予地方局 今治支局	シビックゾーン内における他の官公庁施設との複合化整備の可能性及び実現可能性の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>現用施設の情報</li> <li>各諸室の使用状況及び将来的な見通し</li> <li>必要な駐車スペース</li> <li>建物の更新に関する方針</li> <li>複合施設の整備に係る今後の検討への参画意向</li> <li>複合化の際の条件 など</li> </ul>
3	松山地方検察庁	検察庁		
4	松山法務局	法務局		
5	高松国税局	税務署		
6	日本郵政(株)	今治郵便局		

## 2 まちの拠点およびモビリティ戦略の検討

### ■ 中心市街地の公共交通に関する現状と課題

- 自転車のまちでありながら駐輪場が少ない。**自転車も通行しやすい空間整備**と夜間も歩きやすい空間になるべき
- 今治駅は今治内外の人が集まる場となっているが、**拠点機能としては不十分であり、駅からまちなかへ誘導する仕組みが不足**している
- 広小路は側道をもつ広幅員道路で豊かな街路樹がある路線であるが、**車両優先の空間**となっている。また、**県により道路空間の再構築が計画・検討**されている



今治サイクルステーション



今治駅



広小路



### ■ 『中心市街地まちづくり構想』における記載内容：まちづくり方針（案）

- 十分な拠点機能を発揮していない**今治駅周辺を、中心市街地の重要な交通結節拠点として強化**していく必要がある
- 駅前広場の多くを交通ロータリーと駐車場が占めており、これらの交通機能をコンパクトに集約し、**まちなかの賑わい創出に向けたオープンスペースや歩行者空間の質と量を充実**するとともに、**周辺エリアへの接続を意識した人の流れを創出**することが重要である
- 現況のサイクリスト関連の施設や、導入が検討される新モビリティ拠点を新たに創出するオープンスペースと連携させることで、**次世代の交通結節拠点としての機能を充実**させる必要がある
- 広小路は、側道を有した広幅員道路として豊かな街路樹による景観整備が行われているが、人通りは少ない。商店街とともに、**今治港周辺と市役所、シビックゾーンをつなぐ、まちなかの賑わい創出に向けた重要な路線**であり、街路交通整備だけではなく、官民連携の事業手法の活用など、沿道に魅力的な土地利用が生まれるような戦略的な取り組みが必要がある
- また、**広小路で行われる予定である県の整備事業と連携**し、歩きやすく多様な交通モードが共存して賑わいを創出する交通空間整備を行う

### ■今年度の取組内容

先進事例調査や社会実験による効果検証を踏まえ、**まちの拠点のあり方やモビリティ戦略\***を含めた、**まちなかの公共空間再編の方向性を検討**する。

#### ※モビリティ戦略とは

まちの拠点（モビリティハブ）及びそれらをつなぐネットワークの形成と併せて、まちなかの回遊性を向上させる新モビリティの導入など、戦略的な交通計画を立案すること

#### 【新モビリティのイメージ】



電動キックボード（LUUP）



次世代電気自動車（トヨタ自動車）



特に駅前広場、広小路、芝っち広場、商店街等の重要な**公共空間のあり方**についても検討を行う

### ■検討フロー

①先進事例の調査

国土交通省へのヒアリング  
(沼津市の事例調査)

②社会実験の実施と効果検証

人流計測及びアンケート  
調査の実施

③まちの拠点およびモビリティ戦略の検討

④「中心市街地公共空間デザイン戦略」(素案)の作成

### ①先進事例の調査

- まちなかの拠点整備や、交通利便性・回遊性向上等を図る公共空間の在り方について、先進的な取組を検討・実施している事例を調査
- 沼津市の事例について、**当時の副市長（国土交通省からの出向）にヒアリング調査**を実施した

#### ■沼津市の取組

- ・ 沼津駅周辺の市街地をヒト中心の魅力ある場所へと再生し、多くの市民や来訪者が集い、交流し、住まい、回遊する都市の顔として再構築していくため『**沼津市中心市街地まちづくり戦略**』（2020.3）を策定
- ・ 『**沼津市公共空間再編整備計画**』・『**沼津市都市空間デザインガイドライン**』（2022.6）を策定し、**中期（5～15年）のまちの姿の実現**に向けて取り組むべき事項や施策の方向性を提示するとともに、都市空間の望ましい姿やその実現に向けたアイデア等を取りまとめた



## ■沼津市公共空間再編整備計画

- 中心市街地まちづくり戦略で示した「中期（5～15年）」のまちの姿の実現に向けて、**まちづくりのシナリオを設定し、実現までの過程をステップ毎**に展開

	点「つかう・つくる」		線「つながる」		面「ひろがる」	
	PHASE 1-1(令和3年度～)	PHASE 1-2(令和4年度～)	PHASE 2-1(令和6年度～)	PHASE 2-2(令和9年度～)	PHASE 3-1(令和12年度～)	PHASE 3-2(令和15年度～)
イメージ						
施策概要・狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの貴重なオープンスペースである中央公園での利活用の取組に加え、空間のポテンシャルが最も高い(都)三枚橋錦町線西側区間において車道の一部を歩行者空間化する社会実験を実施する。</li> <li>・公共空間の利活用に対する機運やまちの変化に対する市民の期待を醸成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験を踏まえて、(都)三枚橋錦町線西側区間における定期的な地先空間活用を図り、まちなかに新たな滞留・にぎわいスポットを生み出す。</li> <li>・仲見世商店街周辺で地先空間活用に係る新たな取組を試行し、「(都)三枚橋錦町線西側区間・仲見世商店街・中央公園・旧国1南エリア」へ歩行者の回遊を生み出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口駅前広場の暫定整備に向けて、一般車乗降場の東西分散化・周辺交通への影響に関する社会実験を実施する。</li> <li>・(都)三枚橋錦町線西側区間の再編整備、整備後の歩行者空間の利活用を推進し、駅からの動線及び仲見世商店街・中央公園を含む南北のつながりを強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口駅前広場の暫定整備とUR敷地での活動拠点づくりにより、開かれた空間を駅前に創出し、まちなかにヒトの交流によるにぎわいを生み出す。</li> <li>・(都)沼津駅沼津港線等の空間再配分に向けて、車線数の減少・沼津駅南口交差点の地上横断化に関する社会実験を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前街路の再編整備、沼津駅南口交差点の地上横断化により、歩きやすいまちなかを実現し、歩行者回遊範囲の面的拡大を図る。</li> <li>・(都)沼津駅沼津港線沿道と仲見世商店街周辺の連携による空間利活用により、東西方向でのヒトの流れを生み出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回遊環境の向上に合わせて、民間主導による低未利用地の活用や既存店舗の改修などを推進し、取組をエリア全体に広げていくことで、まちなかのエリア価値を高める。</li> </ul>

まちづくりのシナリオ（5～15年の実現ステップ）

## ■沼津市公共空間再編整備計画

- 駅前広場は、「まちなかで過ごしたくなる、居心地の良い空間」とするため、**将来イメージ（試案）と事業手法**を整理
- 交通体系は、歩行者を最優先とした、安全や使いやすさを意識した交通体系への再編（**駅まち環状エリアの設定**など）



駅前広場の再編イメージ



地区交通体系の再編イメージ

### ②社会実験の実施と効果検証

- 10/22（日）の「せとうちみなとマルシェ」の開催に合わせ、「子どもが真ん中フェスタ」と「海城街Project」が実施され、**市では「公共空間の活用」の一環として参画**することを検討している
- 今治港から今治商店街までイベントが実施される貴重な機会であるため、**アンケート調査等により来訪者の意向を把握**し、中心市街地まちづくり構想に反映する

#### ■各イベントの概要

##### ◎せとうちみなとマルシェ

主体：せとうちみなとマルシェ実行委員会

場所：今治港 みなと交流センター

（はーばりー）付近

内容：瀬戸内の「うまい！」に出会える海辺のマルシェ

毎月第2・第4日曜日に開催



##### ○子どもが真ん中フェスタ

主体：市（子育て関連部局）

場所：今治銀座商店街ほか

内容：ネウボラ施設の周知・広報、ワークショップの実施

##### ○海城街Project

主体：民間団体

場所：新町商店街

内容：モーニングコーヒーイベント

# 2 まちの拠点およびモビリティ戦略の検討

## ■調査日

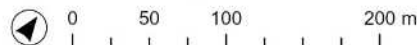
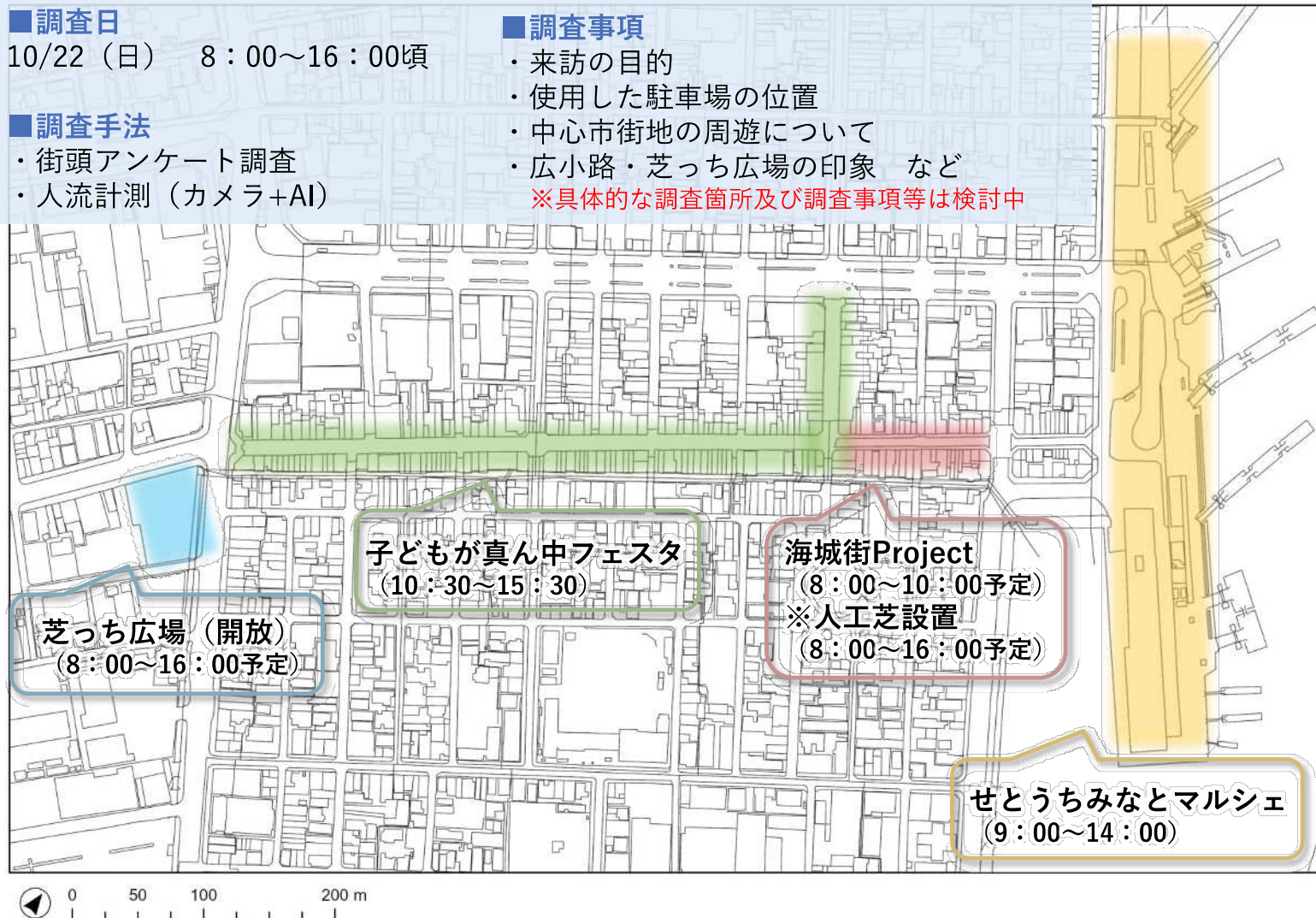
10/22 (日) 8:00~16:00頃

## ■調査手法

- ・街頭アンケート調査
- ・人流計測 (カメラ+AI)

## ■調査事項

- ・来訪の目的
  - ・使用した駐車場の位置
  - ・中心市街地の周遊について
  - ・広小路・芝っち広場の印象 など
- ※具体的な調査箇所及び調査事項等は検討中





# 6 今後のスケジュール

---

## シビックゾーン周辺の再編に向けた検討

① 関係団体等へのヒアリング



② 施設の再編に係る基本条件の整理



再編パターン  
(案)の提示

③ 施設の再配置パターン検討



④ シビックゾーン再整備案の検討



⑤ 「シビックゾーン再整備基本計画（素案）」の作成

## まちの拠点およびモビリティ戦略の検討

① 先進事例の調査



② 社会実験の実施と効果検証



③ まちの拠点およびモビリティ戦略の検討



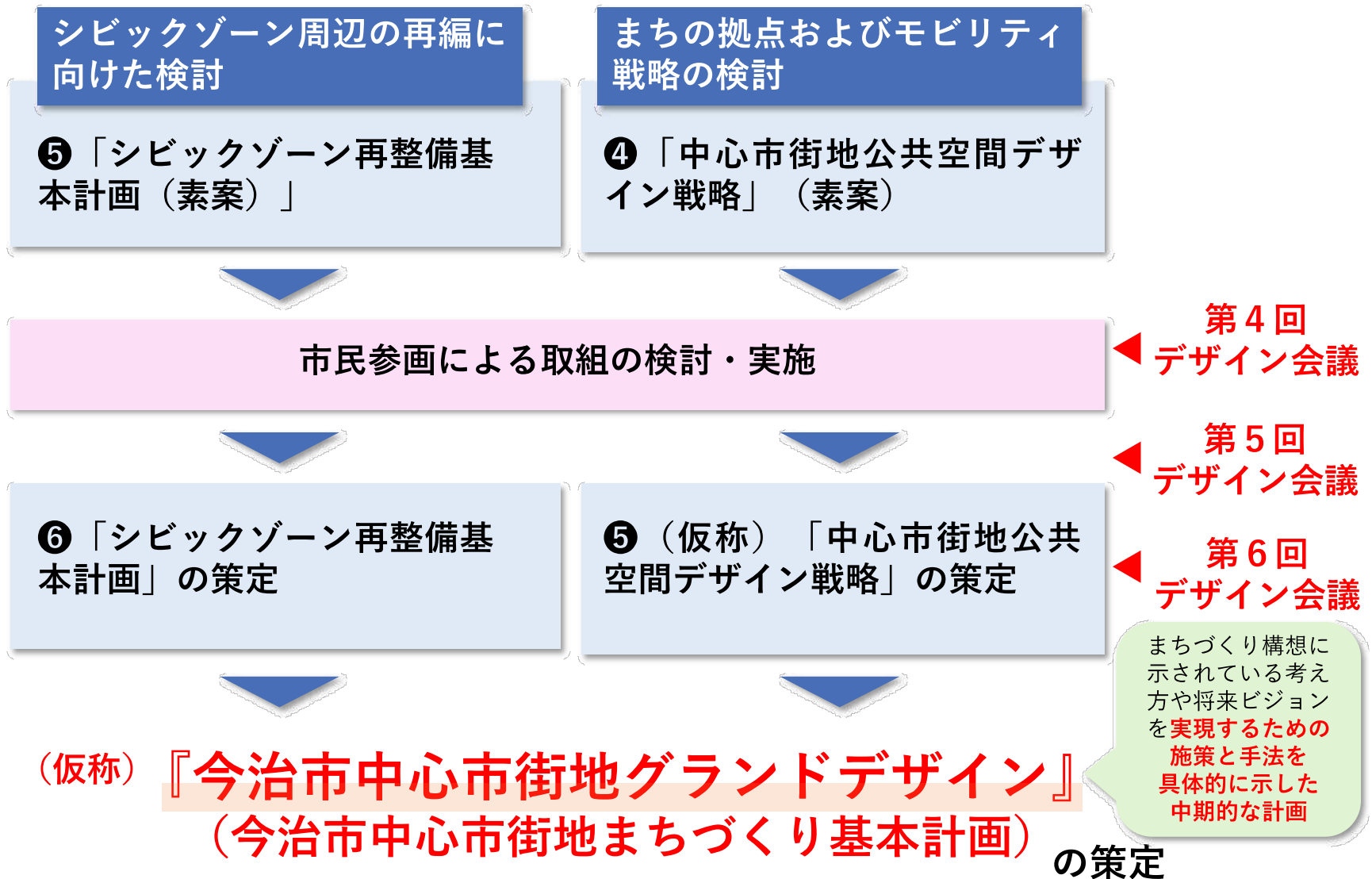
④ 「中心市街地公共空間デザイン戦略」（素案）の作成

社会実験の結果とりまとめ

第2回  
デザイン会議  
2023年11月頃

第3回  
デザイン会議  
2024年3月頃

# 今後のスケジュール（R6年度の予定）



# 【再掲】 ロードマップ（案）

